ご主人様とゆく異世界サバイバル生活 THE COMIC 1

SASAYUKi
［原作］リュート
［キャラクター原案］
ヤッペン

RideComics

cover design : AFTERGLOW

SASAYUKi

［原作］リュート

［キャラクター原案］

ヤッペン

ご主人様とゆく異世界ぶらり旅

THE COMIC 1

RideComics

MENU

Different world
survival to
go with the master

DATE

- #1 …… 045
- #2 …… 069
- #3 …… 093
- #4 …… 121
- #5 …… 147
- #6 …… 173

NOVEL

- たべないよ！ …… 181

MATERIAL

- 設定資料

RideComics

ドゴォ

ドゴォ

ドゴォ

俺の名前は柴田康介

年齢は24で独身
職業は会社員
趣味は
サバイバル系のパソコンゲーム
日課で夜の町内1周
ご近所ランニングをしている

気がついたら荒野と森の境目に着の身着のままの姿で立っていてここがどこかもわからない

……

生き残るために森に分け入って水を探したり食い物を探したり

誰かに会えないかと思って生木を燃やしたりもした

柴田が家名で康介が名前だ

つまり遭難(そうなん)してたわけで…

そのような戯言(ざれごと)を信じられるとでも？

事実だ
信じないなら——

わぁお

ダークエルフ

びじ——

いきなり顔面を蹴りやがった

ドゴ

ぼふぁ

私のような肌の色をしているエルフを『ダークエルフ』と呼ぶとこうなる

覚えておけ

言葉で言えよこの野蛮人が

ほう よりにもよって人間が私を暴力的で野蛮だと言うのか？

って

ぷるん

ぷる

…どこを見ている

おっぱいですが何か

ぷるん

正直なやつだな…
そういうのは嫌いじゃない

……

で

痛っ

本当に俺にもよく
わからないんだよ

お前はここで
何をしているんだ

気が付いた時には
目の前に荒野が広がっていたんだ

どうして
こうなった……

一番に目がいったのは
地球型惑星が彼方にあって
空の3割くらいを占めているし
月のような惑星は
俺の握り拳くらいはある

『オラクル』と『ラニクル』だな

本当に知らないのか？
ここは『リース』の『ペンス大陸』

『オミット荒野』に隣接する『黒き森』だ

#1

サバイバル1日目

どこなんだよここ……

そうだ！

持ち物！

所持品は
スマホと家の鍵

それと財布に——

諭吉さんが3枚

まっ
これだけあれば
タクシーでも
なんでも捕まえて

は。は。は。は。は。

街に行けば
家に帰ることも
なんとか出来るよな

ヒュオオオ

はぁ……

ここが地球で

日本のどこか
であればだよな……

ボーン

がくし

ゲームならこんな状況も悪くないよ

ゲームなら……

リアルでこんなの嬉しくもなんともない……

とりあえず今は危なそうな動物は見当たらないけど
夜になったらどうなるかわからん…
どうみてもここは地球じゃないしよくわからん化け物が出ても何もおかしくはない

『いの一番に』確保すべきは何か？水？いいやこの場合は違うね！
サバイバル系のゲームを多くやり込んだ俺の勘が囁いている

ヤバイのにロックオンされたら絶対に詰むっ

完全に詰むっ！

まず最初に確保すべきは――

安全なシェルターの確保だな

そのためには吹きさらしの荒野じゃなくて密林だよな

この世界がゲームの世界なら高床式シェルターでも作るところなんだけどなー

その前に…

そおい！

そおい！

そおおいっ！

ゴロッ

まっ
こんなモノかな
石刃君1号完成

ナイフの代わりになるような
ものがあるのとないのとでは
探索の便利さが違うからな

それじゃあ
行きますか

ウボアー！

数！

草！

虫！

おっ

この辺り周囲も
少し拓けてるし

見る限り周囲に
獣などの足跡や木に
爪の痕などもなし

とりあえずの拠点と
するのには良さげ
じゃないか？

明るいうちに
アレをやっとくか

必要なものは
こんなもんかな

枯れ枝・倒木片

撓る枝

枯れ落ち葉

石刃1号くんで
木片に窪みを作り

ｶﾘｶﾘ

ここでスウェットの
ヒモが役に立つ

これを撓る枝に弦として
縛り付ければ――

できた！
弓きり式着火装置！

て、てれ

着火！

ぬおおおん！

ついた！

これを
枯れ葉に移せれば…

って消えた！

くそっ
もう1回！

また消えた
もう1回っ

ぎゃーっ
弓が折れた！

もう1回

あー
温(ぬく)いんじゃあ

……

ひもじい……

そもそも
何が悲しくて独り寂しく
孤一貫の過酷な
サバイバルをしなければ
ならないんだ

こんなの
望んでねぇ

せめて異世界転移モノで
お馴染みのチート能力的な
ものを寄越しやがれ

ひもじいぜ……

明日は食い物
最低でも水を探そう……

これがなぁ
サバイバル系のゲーム
だったらFキーとか
Eキーあたりを押せば

焚火を使った
クラフトメニューが出て
くるとこなんだが……

？？ん

これは
クラフトメニュー的な
ものでは？

消えろ

パッ

表示！

受け入れよう
現実を

キー入力を具体的にイメージしたからでたのか？

多くのサバイバル系のゲームが採用しているTabキーを脳裏で――

インベントリ 1.

キタ――

インベントリメニューきたコレ！

!!

インベントリメニューからは自身のステータス画面や

施設を使わないアレにアクセスできるから――

基本クラフト

クラフトメニュー
キター――!!!

基本クラフト
石のナイフ
石斧
石槍
石鏃の矢
簡素な弓

これで道具が作れて生存率は大幅に上がる

サバイバル系ゲームやりこみ勢の俺に

怖いものなど何もない！

どうすればいいんだ？
石斧が石と木の棒が必要で——

クラフティング
石斧
ウィンドウ
腐敗の矢
簡素な弓

実行！

おおきた！

よーしやるぜぇ

で

一通りクラフトしてみたものの

手に持てばいいのか？

石槍

石斧

石のナイフ

石のやじり矢

弓

水筒

ボス

ズオ!!

道具があったところで

槍投げも
斧投げもできないし

弓矢も扱ったことが
ないわけで——

ギリ
ギリ

ボン!!

真っすぐ飛ばないし

狙った所に当たらない

カッ

使うのが俺じゃあな…

どうせなら望む道具をなんでも出せるとかそういう能力が良かった……

でもインベントリは便利だなぁ

手に持った道具に意識を集中すればインベントリに収納できるし

作った道具はインベントリに保管しておけるのが良い

流石にこの量は手に持って運べないからな

試しにセットしてみて――

インベントリの一番下の数字ってショートカットだよな

1 2 3 4 5 6 7 8 9

おおっ

これは便利

今日はここまで
にして寝よう……

初日から夜間探索
とか死亡フラグで
しかないからな

ああ
ひもじい……

ゴロッ

サバイバル2日目

はい
どうもコースケです

今日は
異世界サバイバル生活
2日目を実況して
いきたいと思います

……

ポテッ

実況していきたいと
思いますじゃ
ないんだよ！

リアル
なんだよ！

はぁ

って

喉の渇きが凄いな

とりあえず水を
探さないとな

おおう
なんだこれ！

WSADのキーを
イメージすると

スイー

シャカ

移動できる！

慣お
おおっ！
慣性を無視して

SHIFT

Push!

SHIFTキー
同時だと高速化するが…

めちゃくちゃ
疲れるな

TAP
TAP

スペースキーの
キータッチでジャンプ

これ自分で飛ぶより
高くないか？

ヒョーー

岩が邪魔
だけど

あそこに見える
のは水か!?
普通に歩いていたら
見えなかったな

あの程度の
高さなら

これで
ちょっとした障害物は
飛び越えられるな

そして
華麗(かれい)に着地

タンッ

て

おおっ高いっ！

自分のジャンプ
からの
スペースで

タンッ

できた
2段ジャンプ！

タンッ

ムクリ

ッ！

やべぇよ

ゴゴゴ

なんか
やべぇのいるよ

ゴゴゴ

やべぇよ

ゴゴゴ

GISYAAAAAAAAAA!!

おおおおおっ！

ですよねーっ！

結構(あし)脚速いし！

そうだ！
こういうのは
先手必勝

ドルルルル

スカッ

ASYAAAAAAAAA!!

当たらねえ！

2本目！

ASHAAAAAAAAA!

ていっ！

うわあああっ!?

ボカッ

UAU

ハァ ハァ

しまった 折れて

!?

ハァ ハァ

うおぐ

GYAAAA

ハァ ハァ

喉(のど)に 刺さってッ

わあああ！

ガッ

ガッ

ガッ

あああ！

あああ！

グチャ

グチャ

ぱっ

はぁ

はぁ

やったか？

はぁ

はぁ

死体にアクセスできる

リザーフ

生肉(リザーフ) 7

牙 4

腱 6

皮(リザーフ) 5

骨 7

『生肉(リザーフ)』ってリザーフっていうのかコイツ

とりあえず移せるモノは
インベントリに
移動させてっと

剥ぎ取りいらず
これは神機能だな

パアアア

おおっ
死骸が消えた！

って血溜まりは
残るのか…まずいな

血に引き寄せられて
危険な生物が寄ってくる
前に退散したいけど……

確保できる時に確保
しときたいからな

水筒を作って…

水筒

クラフティン

ウィーン

できた

喉は乾いても
さすがに生水のまま
飲むのは危険だからな

拠点で上手く煮沸消毒
できればいいけど……

これ一本で
いけるか？

コポ
コポ

これだけあれば
暫くは大丈夫かな

拠点にもどって
焚火で生水を飲める
ようにしないとな

水の入った水筒

50個分確保

おおっ！
焚火のメニューに
『安全な水』
ってのがある！

安全な水

これだよ
これ！

『水の入った水筒を』
セットしてっと

水♬

水う♬♪

ついでに
焼いた肉も
もっ

っていうか
このアイコン

ペットボトルだよな……

しかも量が増えてるし…

あれか？生水に含まれている何かが安全な水に変換されて量が1.5倍になったとかそういうのか？

細かいことは考えてはいけないな

まぁいいかうん

パキキ

アアー

ゴクゴクゴク

肉も出来たな

水うめえ

#3 1

はむっ！

鶏肉が1番近いな ささみだ

はふはふっ！

はむっ！

もぐ

もぐ

もぐ

少々臭い気が しないでもないが 柔らかいし十分いける

こっちに来ての 初めての食事！ 染み渡る～

まだ活動できる 時間はあるし

拠点作りを はじめるか

まずは 『石の刃を持つシャベル』 をクラフトして

うーん

素手よりは マシかもしれないが 使い心地は今ひとつ

そういえば！

この動作って もしかして

石の

石の

クラフテ

シャベルを突き入れ

土を捨てるアクションがいらないので疲れないし

起こした時点でインベントリに収納

キータッチの併用で通常の2倍以上の速度で掘れてないかこれ

とりあえず広場を1周

これくらいでいいかな

さーて何か増えてるかなー？

豊かな土と粘土がとれてるな

おおっクラフト品は農地ブロックに干しレンガブロック石垣とかも増えてる！

それに炉ろ

ワークトポ

農地ブロック

干しレンガブロッ

石垣

炉

森の豊かな土

粘土

炉っていったら
間違いなく
製鉄フラグだよな

金属製のツール
胸が熱くなるな

問題は鉄鉱石と
燃料の入手だな

採掘か？

明日は食料探しを
メインに鉄と塩を探す
という方向で行こう

あと色々な資材を
インベントリに収納して
クラフトできるものが
増えないかチェックだな

ハンモック

ハンモック

ハンモック
(スタンド付き)

今日はもう
休むか

カ!!!

で
たたき起こされたわけだ

……なるほどな

お前がこの世界の
人間ではない

ということは
一応納得した

なんだこの
緑色の光の玉！

ポワ

命の精霊よ

うおっ
傷が治って

ポカ

なんか温泉に
入ってるみたいに
全身がポカポカする

あー
気持ちいいわこれ

ふむ
随分と生命の精霊に
懐かれるなお前

そうなのか？
じゃあ俺も
魔術とか魔法を！

だが魔力は全く感じないな
魔法の才能はゼロだ

ガックシ

望みが
絶たれた！

では行くぞ

行くってどこへ？

我々の村だ
私以外のエルフか獣人あたりに
見つかって問答無用で殺されたい
ならここに残っても構わんが

お供させて
いただきます
マム

そうだ

名前

あんたの名前を聞いてない

そうだ！そうだったな！いやすまない

私の名はシルフィエル

黒き森の守護者の1人だ
人間は私のことを
『黒き森の魔女』と呼ぶらしい

この辺りで私の名を知らぬものなどそういなくてな

すっかり名を名乗る習慣など忘れてしまっていた

そんなに有名なのか？

はぁ
はぁ
なぁ
ちょっとまってくれ

サバイバル3日目

日が出てから
歩きっぱなし
じゃないか
まだ
つかないのか？
男のくせに
だらしがないな
なっ
見えたぞ
あれが村だ

おおー

へー
結構大きいんだな

#2

ようこそ
異世界人様!!

やっぱり異世界の
客人っていうのは
歓迎されるんだろ?

村に入る前に
これを身に
着けるんだ

首輪?

こっちのオシャレか
なにかか?

ほら
いくぞ

お前の命を守る
お守りみたいなものだ

きっと感謝するぞ

きゃーっ♥

ゴト

ゴト

ゴト

怒
死ね
道をあけろ
じゃまだ
怒
おっおい
これって
ここで待ってろ
衛兵(えいへい)に話を
つけてくる
待つって
ここでか!?

殺せー
狩りだー
殺せー
マジかよ
ここじゃ人目が多い
移動するぞ
人間は殺せー
死ね
ついてこい
ああそうだな
ここは視線がキツい
狩りで殺せー
こっちだ

ここなら
いいだろう

ぐぬぬ

何しやがる！

ふんっ
人間が

でけえ…

ゾロ

ゾロ

囲まれてる！

剥き出しの殺意もヤバいが

こういう静かな殺意ってのはもっとヤバい……

どうする？

何をしている

もく
もく
ざわ
ざわ
これは私が拾ってきたモノだ
もく
もく
ゲボ
ゲボ
ゲボ
ゲボ
誰の許可を得て傷つけようとしている？
いてててて痛い痛い痛い！
ガクガク
この首輪が目に入らないのか？
ヒィ
ガッ
い！
負がっ

痛い痛い！
ヒールが刺さって

私のモノを
好きに甚振(いたぶ)ることが
できるのは私だけだ

いいな！

クルッ

ぬおおっ!!

わかったら
解散しろ！

ッ首輪って
こういうことかよ！

ヒドイ目に
あったぜ

ちっ
フニャちんネイトめ
姑息(こそく)な真似を

てかいつまで鎖をつけてるんだよ

ジャラ

飼い犬には首輪と鎖だろう？

それに散歩する時はちゃんと飼い主が引いて歩かないとな

覚えてろよ

♫～

それよりさっきのあそこはなんだ

村の外側は難民区だ

現在
人間至上主義の聖王国と
多人種国家の帝国が
ペンス大陸中央部にある
肥沃な平野の支配権を
争って衝突中で

聖王国では
人間以外の種族に対する
弾圧が激化して
耐えかねた亜人種の
難民達がオミット大荒野を
抜けて集まっている

ここに居る難民は
オミット大荒野を超えた先にある
メリナード王国からの難民だ
聖王国の連中が信仰している
アドル教によって迫害され
逃げ延びてきた人々だな

へぇ～

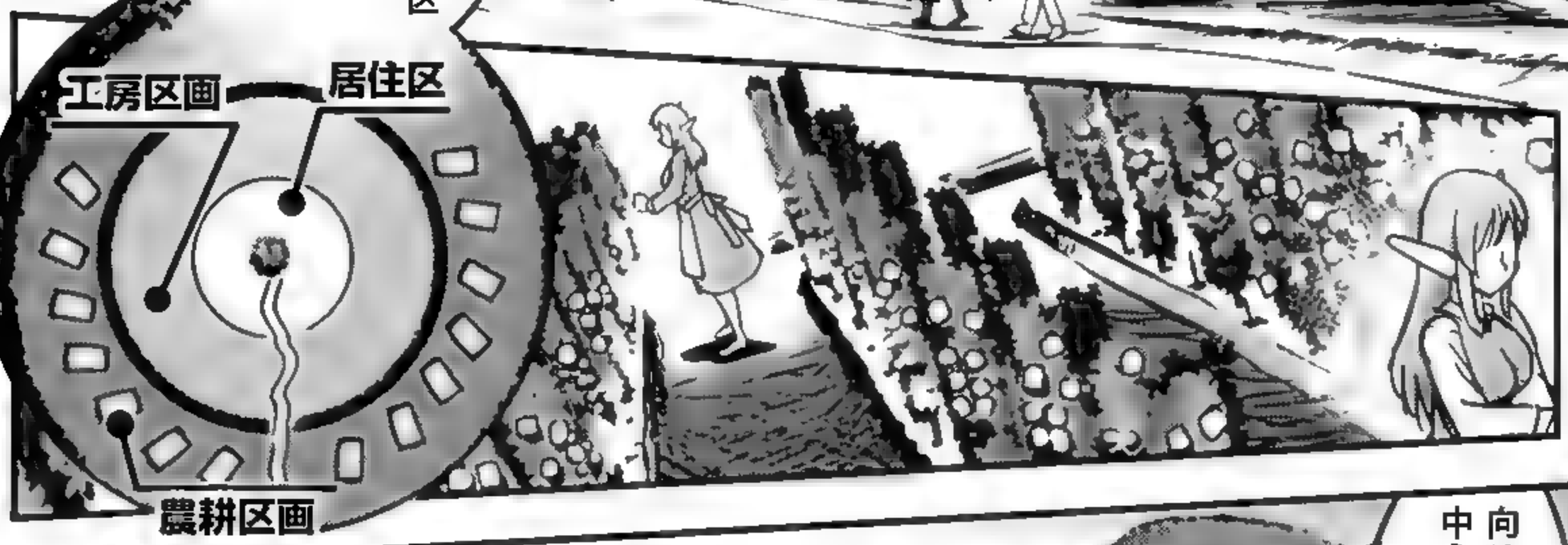
おお
なんだあれ？

魔法畑だ

魔法で作物を
育てている

すげぇ
こっちの世界の農業は
日本のそれをある意味で
上回っているな

中心部にエルフ達の居住区
その外側に工房区画
さらに外側に農耕区画
になっている



向こうが
中心じゃないのか？

いいからついてこい

これが我が家だ

おお～

!!

女の家に入るなり深呼吸とはいい趣味だな？

やましい気持ちはないよ香か何かの匂いか？

別にそんなものは焚(た)いていないんだがな

そろそろ俺を囲った目的を聞いても？

特にこれといった理由はないな

強いて言えば面白そうだったからか

嘘くさいなぁ

お前の正体・境遇・能力・知識そういったものに興味が湧いたんだ

あとはカンだな

聖王国では主神アドルが神世から使徒を遣わすことがあるという話もあるし

エルフ族には『迷い人』精霊界を通じて異界から現れ森の民の窮地を救い勝利を齎すという言い伝えもある

貴様にそんな力があるといいんだがな？

そんな期待されるのは困るなぁ

だが
何か不思議な力を
持っているのだろう？

雰囲気が
まるで尋問の
ようなんだが

教えてくれると
私としても嬉しいな

そう言われても
こいつは
俺の生命線
だからなぁ……

ある程度自分の価値を
示さないと彼女の庇護(ひご)を
失う可能性があるか……

ペラ

あんたには感謝してるし
恩も感じてる
俺の知識や力はたぶん
使い方によってはとても危険だ
そもそも余所の世界の住人である
俺がこの世界にどこまで
干渉していいのかも
わからない
そんな状況であんたに
全てを委(ゆだ)ねることはできないしー

ペラ

よく回る口だな
塞(ふさ)ぐわけにも
いかんのが残念だ

それはよい案だ
あとで試すとしよう

マジか！

あんたの唇で塞いで
くれるなら大歓迎だぞ

ナイスバディの褐色エルフ！
すっごい好みだったりする

わかったよ
まずはこの能力を
紹介しよう

ゴクッ

しゅっ

インベントリって能力だ

専用の倉庫みたいな空間に色々なものをしまっておける

便利な能力だな

この皿借りるぞ

パッ

どれだけ入れられるかは検証中だ

この石斧はお前が作ったのか？随分と手間がかかっただろう？

……まあそうだな

粗末な槍だが十分生き物を殺せる鋭さを持っているな

これもお前が作ったのか？

……まあそうだな

ほ～素人(しろうと)そうなお前が作ったか

ウカツ！

石や草を出すべきだった！

ククク……
追求はこれくらいにしてやる
もう少し慎重にやるべきだな

やっぱり
簡単にモノを作る
能力を察しやがったな

クククッ

リザーフって奴の肉

これは？

骨と皮もあるぞ
全部抜き取ったら
血溜まりだけ残して
消えちまった

あの血溜まりか

ところでお腹が
空きました

そうだな
早速食べてみるか
では頼むぞ

奴隷(どれい)がご主人様の
ために料理するのは
あたりまえだろ？

頼むぞって
俺？

奴隷だったんだ
俺……

……ご主人様
哀れな奴隷に調理器具や
調味料の使い方などの
ご教授をいただけます
でしょうか

ふかぶか

仕方ないな
一度で覚えろよ？

初めての食材を
使った割には
上出来だったぞ

ありがとうございます
ご主人様
ところでさー

トクトク

俺の寝床(ねどこ)は
どこにすればいい？

それでも
構わないが……

このリビングの適当な場所に
ハンモックを置いていいか？

ココ

私の寝床で一緒に寝てもいいんだぞ？

マジで？悩むなぁ

マジで？

俺はまだこっちの世界の貞操観念とか恋愛観は全く知らないわけで！

貞操観念はわかるがレンアイカンというのはなんだ？

またふった

またふった

男が女を
女が男を求めるのに
理屈が要るのか？

動物じゃ
あるまいし

ヒトも動物も
そんなに大層な
違いなどあるまい

本能さ
少々打算と物珍しさが
入っているがな

お前は自分の
好みの女を見たら
欲情しないのか？

襲いかかって
大丈夫なのか？
俺プチってされない？

いいのか？
やっちゃって
いいのか!?

ええい！
プチッとされても
本望じゃないか

それと同じことだ
理屈じゃない

俺は
本能に従う！

当たって砕けろだ！

据え膳喰わぬは
男の恥って言葉もあるし

スエゼン？
どういう意味だ？

女性の方から
言い寄ってくるのを
受け入れないのは
男の恥って
意味の『ことわざ』さ

かまどの方が
パン生地の所に
やってきたらパン生地を
かまどに入れてやる時だ
みたいな話か

ガチャ

知らん
私は乙女だぞ？

こういう時
エルフではどういう
作法が主流なんだ？

立場上そういった話を
するような仲の女友達にも
恵まれなかったのでな

そうかい
なら俺の作法で
行くとしようか

それは楽しみだな

ヌギ

ヌギ

痛みには慣れているが
優しくしてくれよ？

何せ私は乙女だからな

努力はしよう

メギ

こんきりの時は
シルフィでいいから

ぷぅ

外的には
ご主人様の方が
いいだろう…な

ぷぅ

なぁ ご主人様

んじゃ
基本的にご主人様って
呼ぶようにするわ

コースケとでも
呼んでくれ

俺はシルフィと
呼べばいいか？
それともご主人様？

んぁ

コースケ
プライドというものが
低いな…

サバイバル4日目

なんか
心ここにあらず
って感じだな

大丈夫か？

#3

……大丈夫なものか

私の尊厳（そんげん）はズタボロだ

経験と知識の差だ

仕方ないな

ほら出来たぞ

このケダモノめ

乙女になんという
ことをするのだ

ポカ

ポカ

ポカ

ポカ

いたたた～

って

お前は

いたいいたい
痛い痛いッ！

マジで
痛い！

カルース

カルース

カルース

朝食をとったら
すぐに狩りと
採集に出るぞ

日の高い内に
戻ってきたい
からな

Oh....

アイアイマム

昼食
塩焼きにしたリザーフ肉と
香味野菜のなんちゃって肉サンド

朝食
ホットケーキ風に焼いたパンと焼き肉

こうなると

こうなるな

ジロジロとは
見られるが
ヒソヒソという声は
聞こえてこない

視線が痛い

下手なことを話すと
聞こえるとでも
思っているのかな？

シルフィは
恐れられてる
みたいだからな

いるな

何がだ？

あのヤベーやつ

ああネイトか

気にするな小物だよ

ご主人様にとっては小物でも俺にしてみればやべーやつなんだよなぁ

なぁこの1番外側の区画は何を作っているんだ？

長屋(ながや)だ難民達の住居代わりと外に対する防壁も兼(か)ねている

なるほど……合理的なのか？

里の連中からすれば
合理的だろうな
住まわせて食わせて
やっているんだから

前にメリナード王国から
逃れてきた話はしただろう？
昔は交易で栄えてたんだが…

聖王国に征服された
今じゃ 財産もなく
対価は差し出せない
難民達は従うほかないのさ

世知辛いねぇ

敗者の末路
バッドエンドの
その先ってやつか

だが扱いを不満に思って
メリナード王国を取り戻したいと
思っている人もいるんじゃないか？
シルフィも聖王国に思うところが
あるようだし…

俺の能力は武器の
大量生産に向いているし
材料さえあれば短期間で
大量の武器を——

何か考え事をしているようだな？

色々な

だが今は狩りの時間だ気を引き締めろ

あいよ

この辺りからが狩場だ鎖を外していいぞ

おう

静かについてこい音は立てるな

任せろ

Cキーを意識してしゃがんで――

？！

なんだ
その面妖(めんよう)な
動きは

俺の特殊能力の1つ
詳しい説明をするのは
俺にも難しい

ちなみにこんな
こともできるぞ

見ていると不安に
なってくる動きだな……

ヒュ〜〜ン

気持ちが悪い

それな

ところで
そこらに生えてる木を
伐採(ばっさい)していいか？

構わんが
生木は半年ほど乾燥
させないと木材としても
薪としても使えんぞ？

知ってる
知ってるけどなんとか
なりそうな気がしてな

アクセスメニュー
↓伐採っと

樹木

伐採

そんな動きで
伐採できるのか？

……なんだ
これは

なんだって

丸太かな？

枝が払われてるし
ちゃんと乾燥してる
ようだな
長さは15m位か？

木を伐採したらこうなった
これも能力の1つかな？

何をしたんだ
お前は

頭がおかしく
なりそうだ

！

インベントリに払った
枝とかが追加されてる
これは便利

インベントリ 1.

『小枝』

『しなる枝』

『葉っぱ』

原木丸太

1/2にカット

薪にする

インベントリの素材も
直接アクセスして
加工できるみたいだな

ちょっとこの辺の木を
切りまくりたいんだが

乱伐(らんばつ)はやめろ
私が指示する
木だけを切れ

アイアイマム

よし！
丸太が50本
これだけあれば
暫(しば)く木材には
困らないな！

小枝やしなる枝は
燃料にもなれば弓や矢を
作る材料にもなるのか

そうだろうよ

この短時間で
伐採してしまうとは…

さっぱり

薪や木材は十分だな
次は鉱石系の素材を
集めに行こう

そうだな…
渓流に
向かうか…

?

ドキッ

ドキ

かすかに聞こえるこれは
生存競争の勝者が
敗者を――

コースケ

私がやる
無理に手出しはするな

Oh……

でけえっ！

ミニバンくらいは
あるぞ！

GYAAAAAA!!

最初に
遭った魔物が
こいつだったら
俺死んでたね？

尻の先に血が
付着している

毒針なのか？

なぁ？

あれ？
いない

GYA!!

おおっ

GYAAAAA!!

なるほどチクチクいくわけですね

それなら俺も

左クリックを意識して弓を引き絞ると――

でた照準！

ヒュッ

Gigigi

ハッ！

GISHAAAAA!?

効いたか!?

AA

GYAAAA!!

はぁあ

あ

あああああっ！

ﾚﾚﾚ

ううん

おおっ

やったか？

ああ仕留めた

で こいつは 食えるのか？

食えないこともないが こいつの価値の大半は 甲殻と尻の毒腺だな

足はぶつ切りにして 塩茹でにすれば まぁまぁ美味いぞ

後ろ足は？

肉が硬くて食えん 弓の弦には最適だな

どうする？ 本体もインベントリに入れてみるか？ 多分解体もできるけど

いや そのまま回収してくれ 里に持って帰って 報告する必要がある

ほーん
了解っと

パパ

【ギズマの足】×7
【ギズマの触覚】×2
【ギズマの右後ろ足つき胴体】×1
【ギズマの頭】×1
【ギズマの左後ろ足】×1

こいつは『ギズマ』っていうんだな

そうだ
普段はオミット大荒野に生息する魔物だ

魔物!?

その魔物がなんでここに?

どうやら懸念していた事態が起こりつつあるらしいな

多くの難民がオミット大荒野を渡った話はしたな?

インベントリ 1.

その時多くの難民が命を落とした

つまり大繁殖したと？

実際に見たわけではないがな

だが2年ほど前から黒き森に辿り着く難民が1人も居ないという事実もある

増えに増えたギズマが食料を求めてオミット大荒野の外に氾濫しつつあるってことか

さっさと
この場を後にするぞ

ギズマだけでなく
他の魔物が寄ってくる
可能性もあるからな
渓流はこっちだ

お
おう

改めて俺ヤバかったな
大荒野と黒き森の境で
石とか割ってたぞ

ギズマが
襲いかかってきてたら
マジで死んでたわ

俺 だ本
だったんだな
幸運

#4

おほーこれは
資源の宝庫ですわ

『川の砂』

『餅鉄』

でも冷てえ
マジ冷てえ

砂鉄

68

53

砂鉄が
貯まってきたな

クラフティング

でも『作業台(ワークベンチ)』を
作るためなら

それじゃ簡易炉(かんいろ)に
移してっと

作業台を作ってからが
クラフトの本番
というやつだからな

簡易炉
釘
タガネ
釘
ヤ

ハッ

クラフティング

『釘』ってのを
選択して

えーっと
必要な素材は
あとなんだっけ？

初歩的な作業台

『初歩的な工具箱』×1

『木材』×10
『釘』×40
『万力』×1

『万力』は
『鉄』が20個に
『機械部品』が10個かー
『釘』の次は『機械部品』だな

ポチっと

予約に入れてーっと

構造がわからなくても
作成できちゃう辺り
このクラフト能力って
やべーよな

『ご主人様が働いて
いるのに下僕のお前は
ぬくぬくと休憩中か？』
なんて突っ込まれそうだな

ぬく

ぬく

てか 周囲を
調べてくるって
いったきり
戻ってこないな

コラフト時間
すげー長い…

『万力』完成！
よーし

『作業台』の
制作を開始！

おっ

パッ

出来たー

よし
早速設置
してみて——

ここまで
長い道のりだった
普通初日に
作るもんだろ

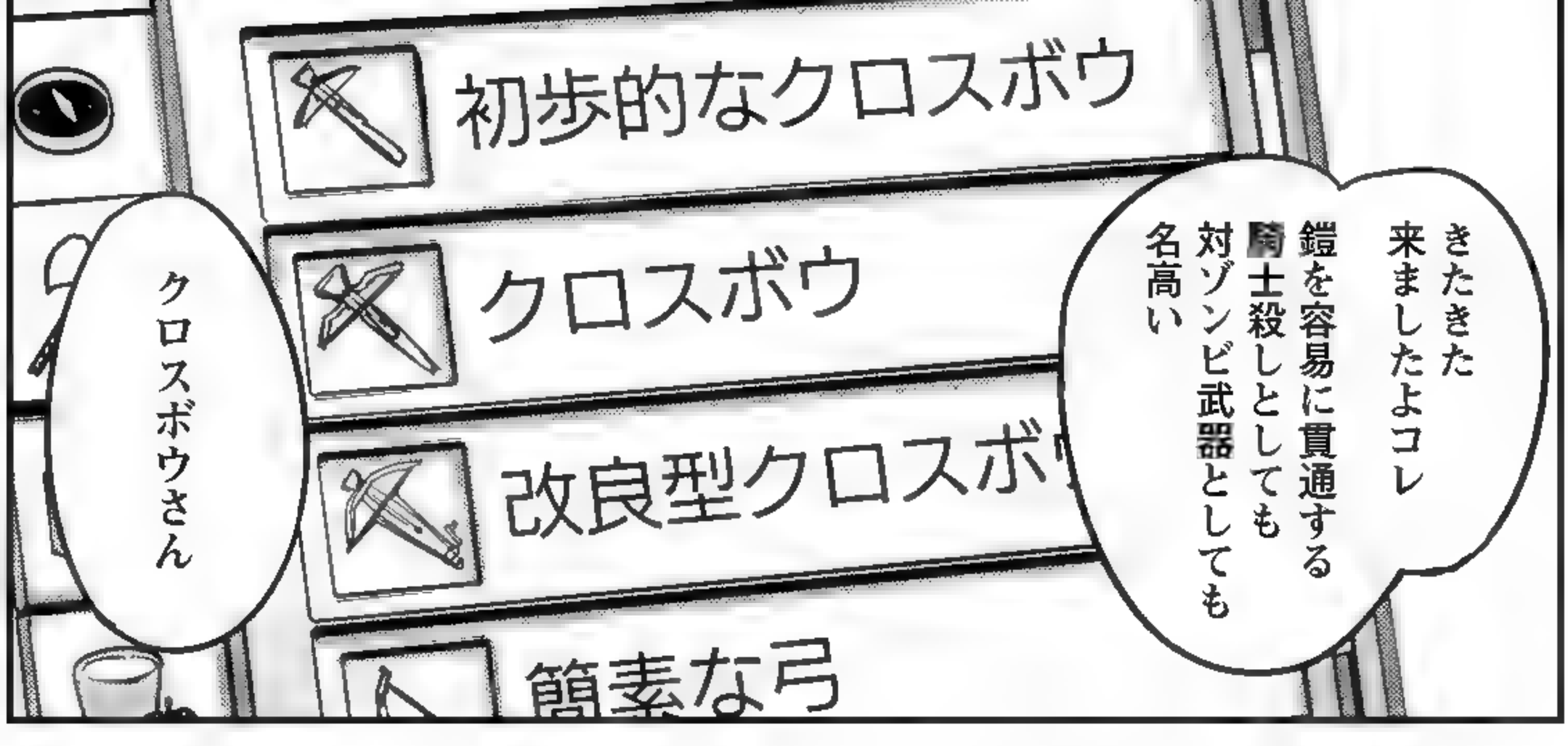
簡易炉で予想は
していたが
これって…

おー

初歩的な作業台

うーん
いかにも作業台

まずはアクセス
してみてっと



・初歩的なクロスボウ――素材：しなる枝×２ 木材×２ 機械部品×１ 繊維×20

・クロスボウ――素材：しなる枝×２ 動物の骨×２ 木材×２ 機械部品×１ 繊維×20

・改良型クロスボウ――素材：鋼の板バネ×１ 木材×２ 機械部品×３ 強靭な弦×１

やはり鋼の板バネがネックだな……

作業台アップグレード

『機械部品』×10

『鋼の板バネ』×5

『革紐』×2

てかこっちもアップグレードメニューが増えている

何故いきなり増えたんだ？

一定条件を満たすと機能がアンロックされたりとか？

簡易炉アップグレード

『動物の皮革』×5

『レンガ』×50

『砥石』×3

『機械部品』×10

そうだとしたら通知の1つくらい寄越せよな

ってことはもしかしてこっちも――

やっぱり何か増えてる

・熟練工――:クラフト時間が20%短縮される。
・大量生産者――:同一アイテムを10個以上作 素材数を
・伐採者――:植物系素材の取得量が20%増
・採掘者 ――:鉱物系素材の取得量が20%増
・解体人――:生体系素材の取得量が20%増
・強靭な心肺機能――:スタミナの回復速度が
・俊足――:移動スピードが10%上昇。
・豪腕――:近接武器による攻撃力が20%上昇。
・優秀な射手――:射撃武器による攻撃力が20%上昇。
・鉄の皮膚――:被ダメージを20%減少。
・生存者――:体力が10%上昇、体力の回復速度が20%上
・爬虫類の胃袋――:空腹度の減少速度が20%減少。
・ラクダのこぶ――:乾き度の減少速度が20%減少。

アチーブメント

初めてのクラフト	初めてアイテムをクラフトする※スキルをアンロック
???	隠されたアチーブメントです
???	隠されたアチーブメントです
???	隠されたアチーブメントです
???	隠されたアチーブメントです
初めての採取	初めて採取を行う※スキルをアンロック
???	隠されたアチーブメントです
???	隠されたアチーブメントです
初めての採掘	初めて採掘を行う※スキルをアンロック
???	隠されたアチーブメントです
???	隠されたアチーブメントです
初めての獲物	初めて生体素材を獲得する※スキルをアンロック
	隠されたアチーブメントです
	チーブメントです

アチーブメントつまり『実績』か

『???』で隠されたのが多すぎて全く役に立たねぇ

???	隠されたアチーブメントです
初めての作業台	初めて作業台をクラフトする
???	隠されたアチーブメントです

※各種作業台やアイテムのアップグレードが可能になり
メニューにステータス、スキル、アチーブメントの項目が追加される

っとこれか！

やっぱり作業台の作成がアップグレード解禁やメニュー項目追加の条件だったのか

他にはないかな？

初めての合体	異性と初めて合体する。あんたも好きね。
？？？	
？？？	

※体力とスタミナが10ポイント上昇。

ブルーン

あんたも好きねじゃ
ねえよふつ男はすぐそ

あと
初めてじゃねーレ

そもそも10ポイントって
どれくらいなんだよ
ステータスが数値化して
ねえからわかんねえよ

ったく
俺にばっか
あるよな？

テクニシャン　全体中に相手を満足させる。やるじゃない。
？
？
＋異性への攻撃力が10%上昇。

やるじゃない
じゃねえよ 何様だよ
余計なお世話だよ

微妙に効果が
高いボーナスも
表面に書くねえよ！

何を百面相しているのだ
お前は

ほあああっ!?

私が魔物なら
今ごろお前は
死んでいるぞ

すまん
ちょっと油断が
過ぎたな

こいつをインベントリ
とやらに入れておいてくれ

oh…
ウサギか？

トサッ

これがお前の
成果なのか？

鋼鉄製シャベルか

まずは資材調達ツールを
揃えるのがセオリーってね

特にこいつは
凄いぞ

こうやって何度か振り下ろすと――

ガーン

ガーン

ガーン

ふーむ
やはりお前が
特別というわけか

ふっ
その通り俺は特別なんだ
だからしっかりと
保護してください

そうだな
そうするとしよう

真顔で言われると
調子がくるうな

今朝作ったモノ
なのにまだ温かいな

どうやらインベントリに
入れておくと時間の
経過が無いかあるいは
極端に遅いらしい

火口まで入れておいたんだけど
さっき取り出したら
生姜焼きになっていた

それは……凄いな
お前の力はこの世の
理(ことわり)を無視するのか

さて
食事が終わったら
村に戻るぞ

？

今日中に報告する
必要がでてきた

待て！

長老達に至急
伝えることがある

伝言なら私が
あずかる！

人間が一緒なら
なおさらだ！

お前に話す必要性を感じんな

行くぞ

おっおう

待てといっているだろ

穢(けが)れ持ちが偉そう――ッ!?

邪魔をするな

ぶふっ

次にふざけた口を叩いたらぶち殺すぞ

Oh…

誰ほう
誰かと思えばお主か

行くぞ

絶対シルフィを
怒らせない
ようにしよう

アイアイマム

ビクン ビクン

おおー

珍しいのう
年寄り嫌いの
お主が2日連続で
ここに来るのは

ほほほ
明日は槍の雨でも
降るかのう

緑起でもないことを
言うものではない
今の状況だと
あまり笑えんでな

今日は報告が
あって来た

シルフィちゃん
其奴が森に入って
きたという人間か？

ふーむ
魔力はほとんど
感じれんのう

ほとんどというか
全く無いのではないか？

まさか稀人（まれびと）か？

おい
アレの触角を出せ

昨日は人間の男を
拾ったから
自分の奴隷にするとしか
言っておらんかったの？

シルフィちゃんは
やめろ

あいよ

ふぅむ
やはりの

森にギズマが
入り込んでいた
懸念していた事が
起きつつあるようだ

一匹入り込んで
きたのなら雪崩込んで
くるのもそう遠い
話ではないのう

里の防衛に
破すれば退けることは
可能じゃろうて

獣人達はどうする?
ちゃんとした壁があって
里の中に収容するのか?

現実的ではないのう
防衛中は魔法畑の
手入れも収穫もできん
あの者達まで食わせるのは
無理じゃぞ

そうじゃな
無理に収容しても
共倒れになるのが
オチじゃろうな

あの者達には今のうち
ここを離れてもらうか
死を覚悟してここに
留まるかを選んでもらう
もあるまいな

元はといえば
あの者達が撤いた
種でもあるからの

うーむ
防壁が完成して
おれば

ガヤ
ガヤ
ガヤ
ガヤ

パッ

そうじゃな
防壁が完成しなければ
難民達の避難は
出来んか…

まぁエルフ達が
難民達と共倒れする
義理もないだろうな

今晩にでも
難民の代表を呼んで
話し合うしか無いのう

彼らを見捨てる
というのは非人道的
だとは思うが……

それでシルフィちゃんや
その男のことなんじゃが
利用価値があるから
自分の所有物にしたい
という話だったの

だから
シルフィちゃんは
やめろ

なんで一晩で
まぐわっとるんじゃ？
手が早いのう

まっ!?

何を根拠に！

ほほっ女はの
男を受け容れると
魔力の質が少しだけ
変化するんじゃよ

些細な違いじゃが
儂らには一目瞭然じゃわい

お転婆シルフィちゃんにも
やっと春が来たんじゃのう

でも儂はちょっと心配じゃぞい
奴隷にした男を無理矢理
慰み者にするのはちょっと
性癖が歪んどるじゃろ

人間はよくやるじゃろ
最近の流行りって
やつなのではないか？

シルフィちゃん
ハイカラじゃのう

プル

プル

プル

プル

あ〜
あのシルフィが
…

あっ

子孫繁栄
結構なことじゃろ
何せメリナード王家の血統で
無事なのはシルフィちゃん
だけじゃからな
多少性癖が歪んで
おっても問題ないわい

王家の血統？

さて笑い話は
ここまでじゃの

メリナードの娘
シルフィエルに問う

その男は何者か
答えよ

知らん

気がついたら
荒野と森の境に
立っていたそうだ

彼の故郷の話はまるで聞いた
ことがない話ばかりでな
それこそまるでリースとは
別の世界の話としか――

……なるほどのう
魔力無き者 狭間に現れ
森の民を救うか…

今の状況を
考えると
出来過ぎじゃの

じゃが
あの御方が遺した
言い伝えじゃ
稀人で決まりかの

ならばその身柄は
儂らが預かるべき
なんじゃろうが……

ダメだ
これは私のだ

キィィィ

まったく
あの跳ねっ返りに
似て強(したた)かじゃわい

な、

うぉ

うっひょう
いいぞ
とてもいいぞ

ふり

しかしのう
稀人とはいえ
見た目は人間じゃ
そうそう受け容れることは
できんじゃろうて

ならば受け容れられる
ようなことを
させるしかないじゃろ

上手く行けば
里も難民も守れる
一石二鳥じゃ

なるほどの

シルフィちゃんや
わかったな？

ああ
承知した

稀人がシルフィちゃんに
従うというのであれば
我らも力を貸そう

じゃが
それもその稀人が証を
立てられたらの話じゃ
心してかかるがいい

行くぞ

ああ

のうお主よ

名前を聞いて無かったのでな名前くらいは教えてくれるじゃろう？

カッ

カッ

俺の名前は柴田康介コースケとでも呼んでくれ

そうかコースケよシルフィちゃんを頼むぞいあれは可哀想な娘でな

……できる限りはな

……

あーゆーおーけい？

あー
その

なんだそれは
呪文か何かか

大丈夫か？って
いう感じの労(いたわ)りとか
心配の言葉かな

大丈夫だ
これからどうしようか
考えていただけだ

長老達が
言っていた件か

お前が稀人であることを
証明するために力を示して
難民を救えと言われた

確か防壁兼住宅が全然完成してないのが問題なんだったか？

そうだ 今のペースだと完成にあと半年はかかる

なんとかなるかもしれないぞ

なに？

レンガ

レンガのブロックを予約して…

クラフテ

まずはちょっと材料を作るぞ

うむ

出来上がる前に今まで言っていなかった能力を見せようか

なっ!?

ほい

えっ!?

ほいほいほい

ドドド

それで丸太6本分だな

触った感じ木材だな

レンガ出来てるなこと
クロスボウも作っておくか

ちなみに防壁を作るならこのレンガブロックか石垣ブロックがオススメ

#5

ほいほいほい

なっ!?

ククク

我が能力は
再生と破壊を司る——
(つかさど)

黙れ

はい

壁の次は
いったい何を
始めるつもりだ

新しい武器が作れる
ようになったんだ
それの試射(ししゃ)を
しようと思ってな

本物の
レンガだな……

ガシャパッ

変な弓だな

普通の弓のほうが連射もできるし使い勝手が良いんじゃないか？

確かに連射はきかないなでもこれはこれで利点が多いんだよ

ぐぐぐ…連射と撃ちやすさ

ぷる

ぷる

カチ

初歩的なクロスボウ

とりあえず試してみないか実際に使えば利点がわかるぞ

下の金具を引くと矢が発射される

ふむ

なるほど手で弓を引いているわけではないからじっくり狙っても疲れないな

ドス

クロスボウは弓と
比べて訓練が容易(よう い)だ
弓を引ける力さえあれば
簡単に撃てるようになる

なるほど難民達を
戦力として数えられる
ようになると？

だが少し威力が弱いな
リザーフくらいになら
有効かもしれないが
ギズマ相手だと
無理だな

ヒュッ

そこでだ

こっちが動物の骨を使って
弓を強化した標準品だ

今度のはだいぶ強いな

ギズマの胴体を出せ
実際に撃ってみよう

良いのか？

甲殻に価値がある人だろ？

構わん
それよりも有用性を
確認するほうが大事だ

ほらよ

よし
離れてろ

ボルトが完全に
見えなくなるまで
突き刺さった

威力は十分だな

実は改良型というのも
あるんだが材料がなくて
作れなくてな……

そこで
相談があるんだ

この裏庭に俺の工房を作らせてくれないか

多分もっと大きな製造施設も作ることになるだろうし作業台も増えると思うんだよ

ふむ……そうだな

良いだろう裏庭は好きに使っていい目に余るようなことがあればその都度言うがな

よっしゃんじゃ早速作らせてもらうぞ

基本的に豆腐ハウス派なんだよな

その前に回収っと

えーっとまずは木製ブロックを床に敷き――

ほい！

ましたっと

これで建物の敷地(しきち)面積を可視化して

ほい

ほい

ほい

壁を建(た)て――

ぽか～ん

屋根を設置

ほい

ほい

最後に出入り口に扉をつけてっと

なっ

しまった
暗い

くら

くら

くら

ハコッ

とってれー

明かり取りの
窓をつけて

作業場の建物が
出来たぞ！

一刻どころか半刻も
経ってないんだが

微妙に違和感があるが…

普通の方法で建てたわけじゃないからなそこは目を瞑ってくれ

あとは作業台やらなにやらを置いていきたいんだが

好きにするとここはお前の城だ

ありがたき幸せ

ところで防壁作りの話なんだが――

その話は食事の後にじっくりとするとしよう今日は私が腕を振るってやる

なんだ？

お前は今でも
私の奴隷だが……

ぎゅ

ふおおっ!?

お前に操を捧げた私は
お前の妻でもある
妻は働く夫を料理で労うものだろう？

行くぞ

唐突に
デレやがった

おおう

なんだあれ
やべぇ
マジでやべえよ

っというわけで

レンガ制作に必要なのは
大量の粘土と燃料だな
難民達を動員して
くれれば捗ると思う

わかった
防壁はそれでいいとして
ギズマ対策は？

クロスボウを量産
すればなんとでも
なりそうな気がするな

数は揃えられるのか？
予備も含めて
三百程は必要だぞ

その数だと
動物の骨がネックだな
最低でもリザーフと
同等の骨がいるんだ

それはギズマの甲殻で
代用できないのか？

その発想はなかった

基本クラ

骨の

骨斧

骨斧

互換性があるな
いけそうだ

なら良かった

だが
さっきから
なんだ？

シルフィが可愛くて
生きるのが辛い

それで色々と
聞きたいことが
あるんだが……

私の出自の
こととか
か？

本当に聞きたいか？
後悔するかも
しれないぞ？

大好きな
ことなら
知りたい

ご主人様の
なんでも
かなーって

そうか……

ひやおう!?

私はメリナード王家
直系の娘だ――

お姫様だったわけだ
そのお姫様がなんで
1人で黒き森に？

王家の伝統だな
王子や姫は黒き森で
森のエルフとしての教育を
受けていたんだ

そして――
私は国と家族を
聖王国に奪われた

奪われたからには
取り返さなければならないし
黒き森に逃れてきた民達も
守らなければならない

それで
俺を利用しようと
考えたわけか

黒き森のエルフ達の
窮地に現れて
それを救う稀人

その力を使えばメリナード王国も
取り戻せるかもしれない
だから長老衆に報告せず
万が一にも取り上げられないように
自分の貞操を俺に捧げたわけだ

そうだ

まぁ気にしてないけどな
俺に関しては負い目を
感じることなんて無いぞ
拾われてなければ
きっと今頃死んでた

救って貰った恩を
返すまでは一緒にいるよ
少なくともシルフィが
望む限りはな

ちょっと頼りないかもしれないけどな

ううっ

ふる〜〜

そんなことはない

ハァ

……嬉しい

ハッ!!

待って

あっ

ガバッ

あ、

ハンニ

あ、

ハッ

サバイバル5日目

わすれて

かぁあぁぁ

いいからわすれろ

何を？

おーけーおーけー
忘れた
夜のシルフィは
俺に思う存分甘えて——

痛い痛い
痛い痛い！

忘れたな

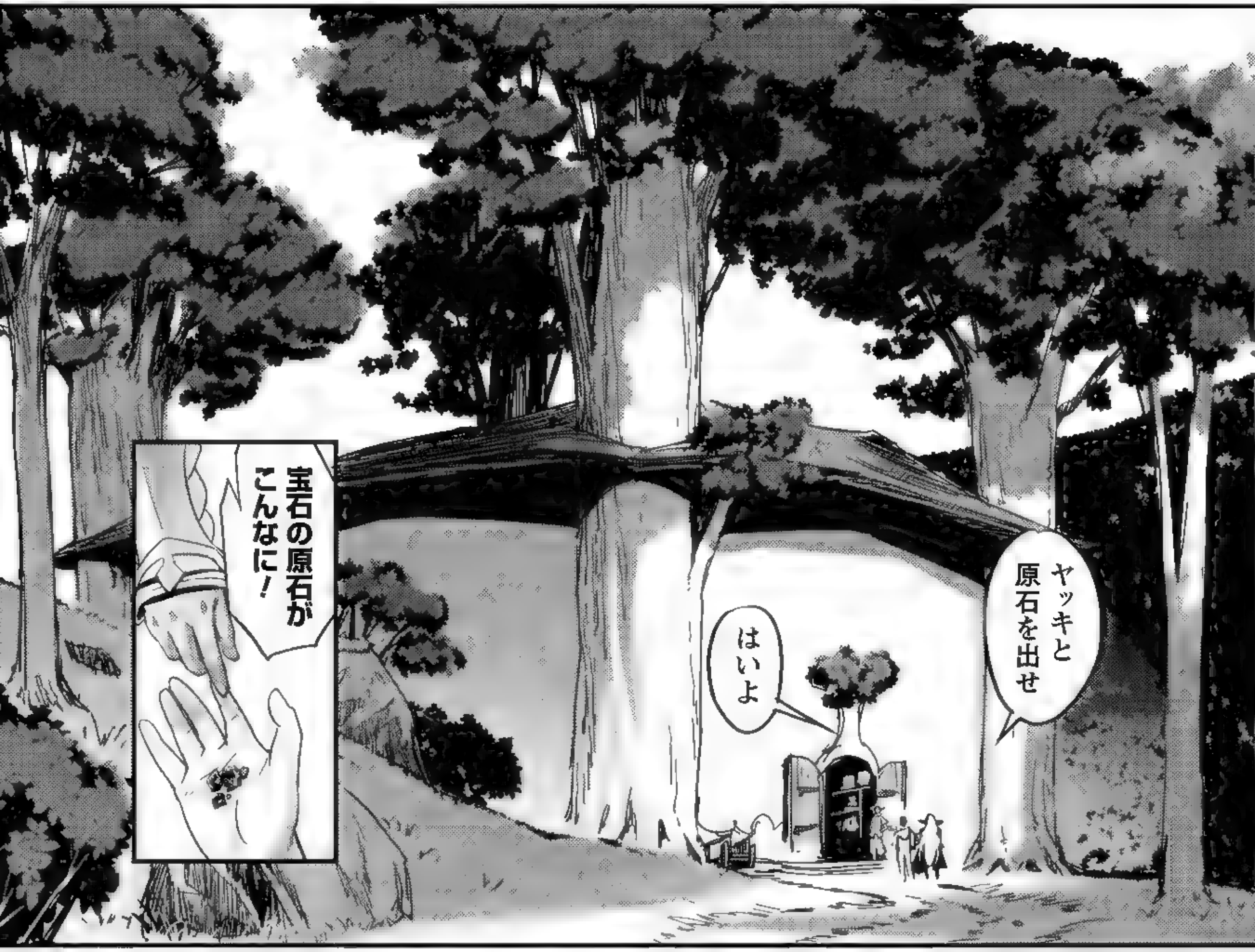
らめぇ！
ちぎれちゃう！

忘れた！ 本当に
忘れたからっ！

ゆるして
ご主人様ーっ

さっさと朝食の
準備をしろ！

アイアイマム！


ヤッキと
原石を出せ
はいよ
宝石の原石が
こんなに！

はい
ご主人様っと

たしか蜜酒が樽で8つ
あと塩が
壺で4つだ
と穀物粉8袋だったな
コースケ
収納しろ
ゴロゴロ

で
どこに
行くんだ？

難民達のまとめ役がいる
長老達との話し合いが
どうなったのか聞いて
状況を把握するつもりだ

にんげんだ！

にげろー！

にんげんだ！

人気者だな

嬉しくねーよ

しねー

ダナン～
姫さま～

姫殿下

ダナン
何度も言っているが
その呼び方はやめろ

いいえ 姫殿下が
なんと仰(おっしゃ)られようと
姫殿下は姫殿下です

我々のために闇を纏(まと)われた
あの光景を見てそう思わぬ
者などいるはずがない

頑固者め
ギズマ対策について
話をしに来た
主だった者を集めてくれ

はっ！

ワル

ご主人様 あいつ
怖いんですけど

ダナンは人間に妻を
辱められた上に殺され
オミット大荒野で
2人の子供を失った

東区の
彼を呼んで
きてくれ

はっ！

Oh
ヘヴィ……

俺を連れていて
大丈夫なのか？

私が言い聞かせれば
大丈夫だ

それに私がお前を見捨てる
ことだけは絶対にない
それだけは覚えておけ

わかった
俺もシルフィを見捨て
たりはしないからな

ふふ
それは嬉しいな

あの姉妹が微笑んだ！

さて 諸君！
薪と食料を
用意してきた！

全員が腹いっぱい
とまでは行かないかも
しれないが行き渡る
だけの量があるはずだ

ちら、

あいよ

ギズマの肉もある
あるだけザルを
持ってきてくれ

ほい！

おおー

突然モノが現れた！

ドサッ

ほい！

何をしている？
食事を作り始めろ
子供達には
たらふく
食わせてやれ

ゴト

ガヤ

これは一体！

何故妖気が…？

ガヤ

姫殿下
集まりました

そうか
今行く

ガヤ

急に
集まってもらい
すまない

とんでもない
いったいどのよう
用件でしょう？
な

ギズマの件だ
昨日長老どもに
呼び出されたな

はっ 長老衆からは
森の奥深くに逃げ込むか
留まって戦うか
どちらかを選べと

壁の中に入れられるのは
子供達が精々だと
通告されました

あの狸どもめ
やはり精霊石を
放出するつもりはない
というわけか

他には何か
言っていたか？

防壁の建築が間に
合いさえすれば とは
言っていましたが……

なるほどな 私達が
聞いた話と同じか……
防壁の建築に関しては
この男が鍵を握っている

紹介しておこう

この男はコースケ

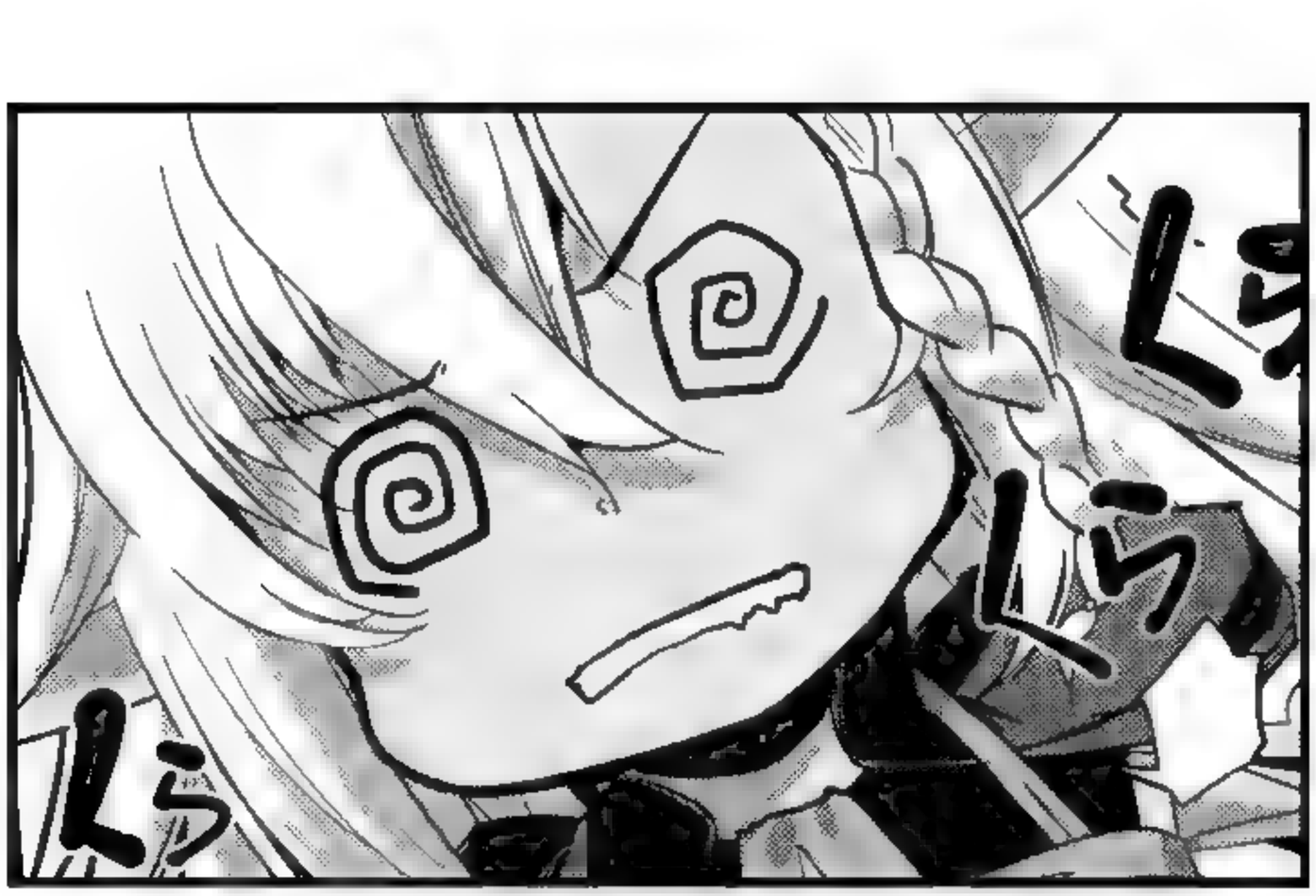
私の奴隷ということになっているが
私はこの男に操を捧げたよって私はこの男の主人であり妻でもある

姫殿下!?

!?

なっ!?

なんですとー!



姫殿下一体何を
お考えですか!?

人間と
ですと!

なにを仰(おっしゃ)って
おられるか
私どもには
理解が——

おろ

しゅん

事件です
大事件です!!

#6

おやつ

落ち着け
落ちつくんだ

おやつ

コースケは普通の人間ではないのだ

この世界――リースの人間ではない異界から訪れた稀人（まれびと）だ

いきなりこんなことを言っても信じられないだろうが

多くの言葉を交わしその不思議な能力を見て私は確信した

どこにでもいる普通の人間にしか見えません

魔力も感じない

失礼ながら姫殿下姫殿下はその男に騙されているのではないかと

腕っぷしも無さそうだしなぁ

言いたい放題の
フルボッコだな

カリャ

近づいただけで
汚れそう

カリャ

鼻がもげそうな
悪臭を放ってる

カリャ

だいたい何だ
あの変な服は？
センスがないな、ヲイ

お前達がコースケを
信じられないのもわかる

だが
まずはコースケを信じる
私を信じて欲しい

そしてコースケに
対する不信は
彼と言葉をかわし
その力を見て
晴らして欲しい

……

まずはお互いに
自己紹介するこ
からだな

どこまで話す？

全てだ

俺の自己紹介は
こんなところだ

……わかった
ひとまずは信じよう

ふう

姫殿下が信じる
という
信じるなら俺も
信じるまでだ

だが
もし裏切ったら
その時は覚悟しておけ
我が角でお前の心臓を
突き殺してやる

俺達も改めて
自己紹介をしよう
俺の名はダナン
メリナード王国の近衛騎士だ
騎士団では副団長を
務めていた

わかった

ダナンはあれだ
牛というか
ミノタウロスだな

次は私が

ペコリ

私はメルティと申します
メリナード王国では
内政官として
働いておりました
以後お見知りおきを

雰囲気を持つ妙齢(みょうれい)の婦人
巻角は羊ってことか？

服装で目立たないが
シルフィといい勝負
いやそれ以上か!?

睨(にら)まれた
バレてるし

私はアイラ

メリナード王国
宮廷魔道士団の
団員だった

眼を隠した
見られるのが
嫌なのか？

単眼少女！

俺はキュービだ
他の3人みたいに
大層な肩書きはないが
すばしっこさには
自信があるぜ

私どもは
難民の
まとめ役を
しております

とはいえ
食料や住居も
拵えられず…

よし自己紹介が
終わったところで
話を進めよう

先程も言ったが
我々の命運は
コースケが
握っている

大量に色々なモノを
作れる――でしたか

具体的には
どのような？

現場に行って実際に
見たほうが早いな

失礼します

すみません
お食事の準備で
問題が……

姫様
ここは私どもが
処理します

どうか会議を続け
なすって下さい

食事は私達を
待つ必要はない
できあがり次第
初めてくれ

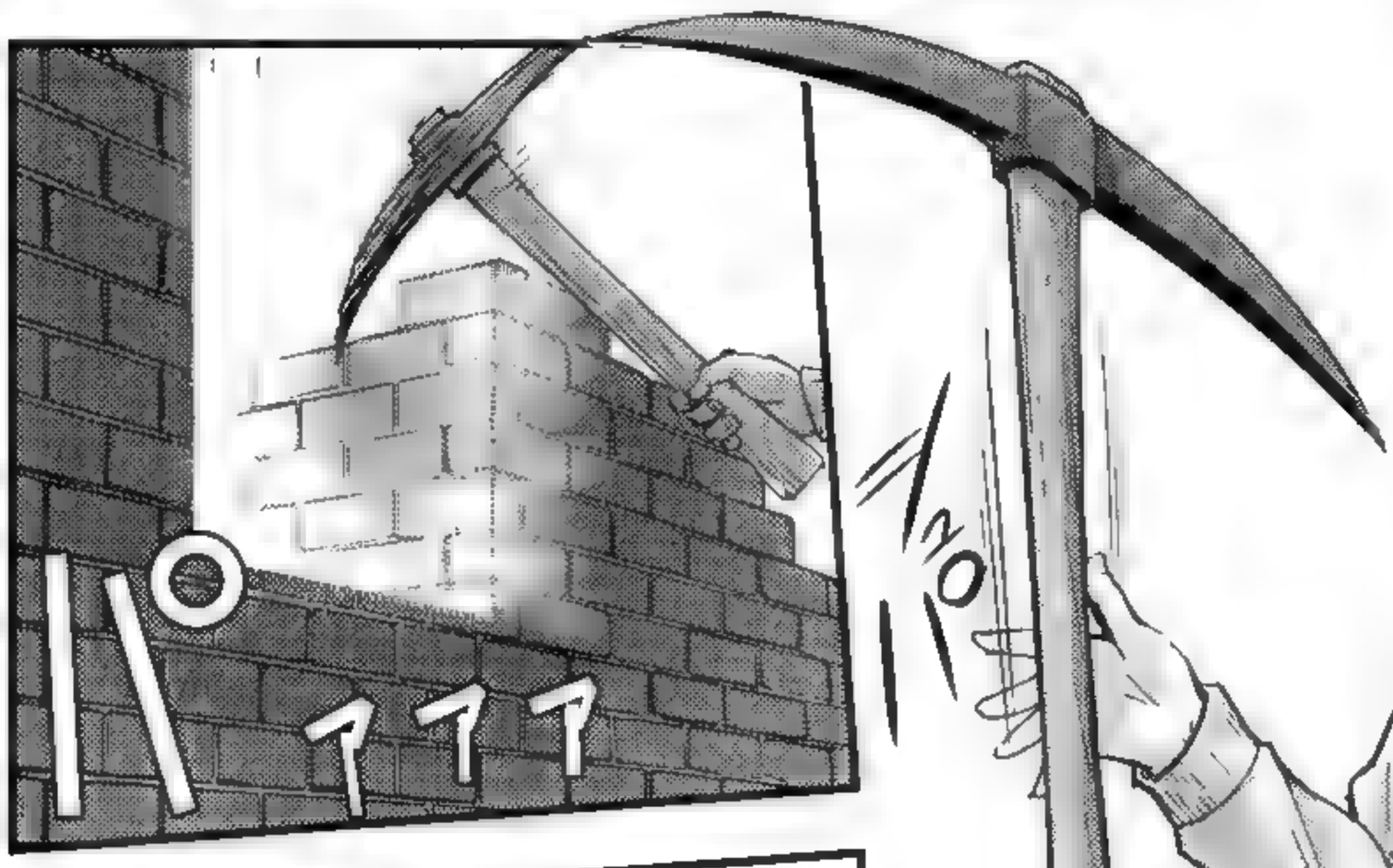
かしこまり
ました

よし 私達も
行くぞ！

姫殿下
モノを作れる能力と
工事現場に
なんの関連が？

まぁ
見ていろ
あー
これは反応に困るパターンですね

少しだけ
崩していいか？
構わん
お前の思うようにやってみろ


ガッ
アイアイマムっと

なっ

つるはしを振るっているだけで防壁が消えている…？

魔力の働きは視えない

ほいほいっと

ガッ

ガッ

ガッ

よくわかんねーけどスゲーな！

ニヤニヤ

整地完了っと

更地になった

レンガはどこに？

パッ

では壁を――

ゴゴゴ

作りますかね

トッ トッ トッ

ほいほいほいほいほいほい

ククク

……

ホロ

俺の能力を確認するってだけならこれくらいで十分かな？

触って確かめてみろ

姫様ぁ蹴っても大丈夫ですか？

キズマの突進を受け止めるつもりの防壁だぞ？

壊すつもりで本気で蹴りまくれ

うおおっ

テイッ

テイッ

ﾆﾔｰ・

総出でも2週間は
掛かりそうな防壁を
この短時間に……

確かに姫殿下の
仰る通りの力を持って
いるようですね

でも何の代償もなしに
こんなものを作れる
わけがない
道理が合わない

どんなペテンを使ったの？
魔力の働きは一切なかった
この世の理に反している

俺にだってこの力の
原理なんてわからんよ

質量保存の法則とか
そういう類の世界の
ルールを完全に
無視してるよな

ズイ

ズイ

ズイ

不条理

シルフィ？

ククク……
できる限り教えてやれ
アイラはそうなると
納得するまで
テコでも動かんぞ

威圧感が半端ないんですが

詳しく教えて

ええ……

理不尽 不条理

入力と出力で
そもそもの目方が
違い過ぎる

しかも
よくわからない材質の
容器までついてくるとか
意味がわからない

わかる

インベントリの中で
ズルをしている？

いや
してないから

一度煮立てるというプロセスが必要
のなら鍋とかが必要
木の水筒に入れたまま
火に投入したら木が燃えて
中身が漏れるはず

クラフティング

そもそも焚火で
木の水筒に入った生水を
安全な飲料水にする
というのがおかしい

うん そうだよな
でもできてしまうんだ

いいじゃないですか
アイラ

増える分には
困ることなんて
一つもありません

そのクラフト能力
とやらでは食料も
作れるんですね？

あまり試した
ことはないんだが……

では

え？

すぐに試しましょう
水のように5割増しに
なれば儲けものです

さぁ今すぐ試しに
行きましょう

へるぷ！

ご主人様
へーるぷ！
さらわれる！

不条理を解き明かす
きっかけになる
かも知れない

ガイ

ガイ

ガイ

随分と仲良く
なったな

おおモテるな
あいつ

いやーうらやましいなー

くぴぴ

くたびれた～

ずいぶんと
こき使われた
ようだな

そういえば
メルティは？

彼女は
5割増しになった
食料の配給計画を
立てなおし中です

小一時間ほど拘束
されて石臼で粉を
挽く機械にされた

ゴリ
ゴリ

おかげで自分で動かすと
クラフト時間が飛躍的に
短縮されるっていうことが
分かったんだけどな

おかげで腕が
パンパンだぜ★……

ほら
食えよ
昼飯だぞ

プリ

これがギズマの肉か

どうだ そこそこ
美味いだろう？

うん美味いな

元がアレだと
知らなければ
良かったんだが

これは食いごたえのある
ガーリックシュリンプだな

俺の故郷ではあまり
昆虫食の習慣が
無くてな

もぐ

もぐ

ギスマみたいな
あんなデカイ虫は
はじめて見たぜ

もぐ

そもそも
魔物なんてものも
いなかったんだが

あーん

魔物が
いない？

そんな事は
ありえない
魔力があれば魔物は
絶対に発生する

いや
そもそも魔法自体が
存在しなかったんだよ
魔力も無かった
んじゃないかな

信じ難い
魔力を持たない
生物なんて
存在しない

ここにいるんですが
それは

貴方は存在からして
不条理

酷い

クス

アイラと
随分とよろしく
しているな？

これから一緒に
シルフィを支えていく
仲間なんだから
仲良くするのは
当たり前だろう？

もしかして
ヤキモチ？

ふーん

ごご主人様可愛い
過ぎるだろう

心配しなくても
俺はご主人様一筋
(ひとすじ)

おぢおぢ!?

げほっ
ごほっ

ふる
ふる
ふる

へへへ
仲の良いこって

日の高いうちから
盛るな駄犬

姫様この先は
どう動く？

うむ
コースケの能力を
最大限に活かして
まずは防壁を
完成させる

そのために必要な
粘土をダナンに
指示した

それと斥候の
手配だな

あと他に必要な
ものは燃料だけ
だったはずだな？

いいえす
まむ

ふる

でも姫様
里周辺の薪(まき)は大体
拾っちまってますぜ？

大丈夫だ
そこでもコースケが
役に立つ

ニヤ

ボッ

不条理

俺も思ったわ
なんだよこれ
ズルいだろ？

そう
言われてもな

幹（みき）の表面を少し
削る程度の打撃で
木が倒れ

曲がった木も
真っ直ぐになり
しかも加工に
適した乾き具合に
なっている

水が増えるよりも
遥かに不条理

薪も材木も作り
放題じゃねぇか
いくらでも
金儲けができるぜ

だから言っただろう
コースケが我々の
命運を握っていると

はは…

これをメルティに
見せたら狂喜乱舞する

違いねぇな
今度はひたすら木を
切らされるぜ
黒き森が丸裸に
なるんじゃねぇか

はは…っ
流石にそこまでは
やらないだろう

……

やらないよな？

この件はメルティに
秘密だ誤魔化せ
いいな？

善処する

前向きに
検討するぜ

これでもかって
くらいの玉虫色の
回答ありがとうよ！

アイラとキュービは
粘土の調達に動いてくれ
ここは我々だけで十分だ

そうですね
姫様がいれば何が
来ても大丈夫でしょう

姫殿下
私はこの不条理を
解き明かしたい
粘土の調達はキュービが
伝令に走れば十分

む それもそうか
キュービ

へい了解です

せいぜい気張(きば)れよ
コースケ

速い
相当な身体能力
もっているな

さて切れる木に
印をつけていく
コースケたのむぞ

おう

日が暮れるな
そろそろ
引き上げるぞ

わかった

なにか
わかったか？

まるで神の業(わざ)
理解がまるで及ばない

この手斧だって魔力も
何も宿していない
なのにコースケが使うと
異常なことが起きる
実に不条理

結論としては
俺にしか使えない
なんかよく
わからないけど
不思議なパワー
ってことで

ゴゴゴゴゴゴ

不条理すぎて
キレそう

もう
解剖するしか

おおい!?
ボソっと恐ろしい事を
呟くなよ!

ご主人様!
この子怖い!
たすけて!

ははは
アイラなりの
場を和ませる
ジョークだろう

そうジョーク
いくら私でも生きている
人を解剖するだなんて
蛮行はしない

生きている間は

それって死んだら
なんの躊躇(ちゅうちょ)もなく
解剖するって
ことじゃね?

なんなら殺すまで
含んでない?

大丈夫?

やっぱりこの子怖い!
たすけて! ご主人様!

くぅ〜ぐ〜

書き下ろし小説

【たべないよ！】

文／リュート

「腕が疲れてきた……」

ごーりごーりと音を立てて重い石臼を回す。何をしているのか？　というと石臼を回して粉を挽いているのである。

うん、見ればわかるよね。石臼の用途なんて粉を挽くくらいしかないもんね。

より正確に言えば、石臼のクラフトメニューを使って粉を挽き、俺が手動で石臼を回すことによってクラフト時間を大幅に短縮しているのだ。

ちなみに俺にこの作業を申し付けたメルティは食料の配給計画を見直さないと、などと言ってウキしながら立ち去り、アイラは難民に何かを頼まれて名残惜しそうに去っていった。つまり俺は空きっ腹を抱えながら、人寂しく石臼を回しているのである。

そうして労働に勤しんでいると、視線を感じた。なんという視線の圧力……これはまだ俺に殺意を抱き続けている難民の残党か――？

「じー……」

俺に圧力の強い視線を送ってきているのは物陰からこちらを窺う大きな瞳……単眼であった。アイラではない。どうやら単眼族の子供のようである。いや、よく見ると視線は一つだけではない。

「がるる……」

「……」

二足歩行している柴犬みたいなのとか、肌が青っぽくて悪魔っぽい角や翼とかが生えている女の子が物陰からこちらの様子を窺っていた。どうやら難民達の子供であるらしい。

とりあえずニッコリと笑いかけてみた。
「……！」
こどもたちは　逃げだした！
めっちゃ逃げられた子供達が物陰からこちらの様子を窺ってきた。悲しい。俺は何の罪もない人畜無害な優しいお兄さんなのに。内心傷つきながらゴリゴリと石臼を回していると、まだ怖いけど興味はあるといったところか。
「首輪も鎖もついてるからこわくないよー」
「ほんとう？」
「そんなこといってだますつもりだワン」
「にんげんはわたしたちあじんをたべものにするって」
「たべないよ！」
あと、それは食べ物にするじゃなくて食い物にするじゃないかな。肉的な意味でなく、労働力とか奴隷的な意味で。
「めがふたつある」
「けがわがないワン」
「はだがあおくない」
「そうだろうそうだろう。でも俺は大きなお目々も、モフモフの毛皮も、青くて綺麗な肌やかっこいい角や翼も素敵だと思うよ」
「そうかな？」
「ほめられたワン」
「……ありがと」

褒めたのが良かったのか、子供達が距離を詰めてきた。褒めたくらいで警戒心が解けるものだろうか？　いや、子供っていうのは感受性が高いからな。俺の発言がお世辞じゃなく、本当にそう思っての言葉だと見抜いたのかもしれないな。

「なにしてるの？」

「見ての通り石臼を回しているんだ。ピンク髪の怖いお姉さんにやれって言われてな」

「どれーってやつだワン」

「かわいそう……てつだう？」

「いや、これは俺がやらないとダメなやつでな……気持ちだけは受け取っておく。ありがとうな。優しくていい子だな、君は」

俺がお礼を言うと、青肌の悪魔っ子はちょっと恥ずかしそうにモジモジした。うん、可愛い。

「おにいさんはにんげん、だよね？」

「そうだな、人間だな。でもこの世界の人間じゃないんだ」

「このせかいのにんげんじゃないワン？」

「どういういみ？」

「それが俺にもよくわからん。稀人とかいうらしいけどな。俺の住んでいたところには空にあんなにでっかい星はなかったし、月はもっと小さかったんだ」

そう言って俺は空を見上げる。見上げた先には空の何割かを占めるように威容を見せつけてくる大きな惑星と、握り拳大の大きなお月様が浮かんでいた。ちゃんとした名前があるらしいが、まだうろ覚えだ。

「よくわかんないワン」

「ですよねー。まぁ、とっても遠いところから来たんだよ。どうやって帰るのかもわからないくらいね」
「おうちにかえれないの……？」
「かわいそう……」
「君達めっちゃいい子だな……その天使のような優しさをお姉さん達にも少し分けてやってくれ」
特に初手で顔面キックをキメてくるご主人様とか、下手すれば俺を解剖しそうな単眼魔法使いとか、こうして奴隷労働を強いてくるピンク髪のツノ女とかそこらへんに。まぁ、ご主人様はああ見えて可愛いところもあるんだけど。
などと考えていると、背後から声をかけられた。
「ほう？　私は優しいと思うんだがな？　コースケ？」
「Oh……」
振り返ると、笑顔を浮かべたシルフィがこちらを見下ろしていた。口元は笑っているが、目が笑っていない。コワイ！
「もちろんですとも。シルフィは優しいよ。なぁ？」
「ひめさまやさしいよ？」
「いつもみんなのためにごはんをもってきてくれるワン」
「ころんでけがをしたらなおしてくれるの」
子供達がそう言って純真な瞳でシルフィを見上げる。その視線を向けられたシルフィはというと、あまりに無垢で純粋な尊敬の眼差しに晒されてしまったために、俺にお仕置きをする気が失せてしまったようだった。良いぞ子供達、ナイス援護だ。
「少し遅くなったが、昼食の用意ができたから呼びに来たんだ。皆も手を洗ってきなさい」

「はーい！」

子供達はシルフィの言うことを聞いて仲良く駆け出していった。そう言えばさっきからニンニクに似た良い匂いがしている気がする。

「それじゃあ俺も……」

「もう全て挽き終わったのか？」

スッ……と細められたシルフィの視線が俺を射抜く。

「……半分くらいですかね」

「昼食は全部終わらせてからだ」

「そんなー」

どうやら許されていなかったらしい。ご主人様にそう言われては俺としても従う他ない。別にそこまで律儀に従う必要もないと言えば無いのだろうけど、シルフィの機嫌をあまり損ねるのもよくないしな。

結局、俺は小一時間ほども空きっ腹を抱えたまま石臼を回し続けることになるのだった。

でも、仕事を言いつけた自分自身も俺が仕事を負えるまで昼食を取らないで待っていてくれる辺り、やっぱりシルフィは優しいと思う。こういうところがあるからあまり反発する気が起きないんだよな。

あとがき

コミックス一巻をお手に取っていただきありがとうございます！
リュートです！
SASAYUKi先生の描くシルフィが実にエr――とても良い。
もっとやってください（真顔）
これから先はシルフィだけでなく、
アイラや他のキャラクターとの絡みも多くなりますね。
原作者の私もとても楽しみにしています！
やっぱり褐色エルフや単眼娘や角っ子やハーピイは最高だな！

リュート

ご主人様とゆく異世界ゴルフ THE COMIC

MATERIAL

設定資料

異世界コースケ

-異世界へ現れた稀人-

「救って貰った恩を返すまでは、一緒にいるよ」

銀行に行こうと家を出たところ、
気付いたら異世界でサバイバルを
することになった主人公。
「どうしてこうなった…。」
クラフトゲームのような能力を用いて、
アイテムの収納・クラフト、
キモい動きをすることが出来る。

シルフィエル

メリナード王家の娘。

「私の名はシルフィエル、黒き森の守護者の一人だ」

コースケが初めて出会った人物にして
ご主人様。
魔法だけでなく近接戦闘もこなすことが
出来る、ナイスバディの褐色エルフ。
ある出来事がきっかけで、
肌の色が変わってしまった。

シルフィの家

9
ネルフィと
風心コテ

ネイト

エルフの兵士

あとがき

どうもSASAYUKiです

「ご主人様とゆく異世界サバイバル」

コミカライズ第1巻のご購入ありがとうございます～

担当の鈴木氏、仕上げを手伝ってくれたGody氏、また関係者各位

ホントありがとうございました

ご主人様とゆく異世界サバイバル

different world survival to go with the master

Text リュート
Illustration ヤッペン

最新④巻発売中!!

のじゃロリドラゴン飼い始めました。

聖王国からの追っ手を振り払うため、コースケはドラゴンの巣があるとされる危険なソレル山地を抜けることに。そこで出会ったのは…

重版続々大ヒット中!!
RideComicsラインナップ

RideComics

ノッてるマンガが大集結!
一歩先が見えるWEBマガジン

マイクロマガジン社発オンラインコミック誌

コミックライド

Comic Ride
the monthly super web comic

毎月30日更新

公式Twitter(@ComicRIDE)

異世界コミカライズからオリジナル漫画まで新作続々!!

ヤクザと幼女のハートフルコメディ
組長娘と世話係

コミックライドは今秋（2020年10月）増刊化します！

コミックライド Comic Ride

毎月30日配信！

コミックライド アドバンス Comic Ride

毎月10日配信！

新雑誌名は

コミックライドアドバンス

より幅広く！ 今までにない新しいジャンルにも挑戦

より刺激的に！ 細胞直撃のダイレクトな演出描写！

より多くの作品を！ 2誌あわせて作品数が大幅アップ！

一部の作品はコミックライドアドバンスにお引越しします

『せっかくチートを貰って異世界に転移したんだから、好きなように生きてみたい』

➡第24話よりコミックライドアドバンスに掲載

『酷幻想をアイテムチートで生き抜く』

➡第12話よりコミックライドアドバンスに掲載

『ご主人様とゆく異世界サバイバル！』

➡第7話よりコミックライドアドバンスに掲載

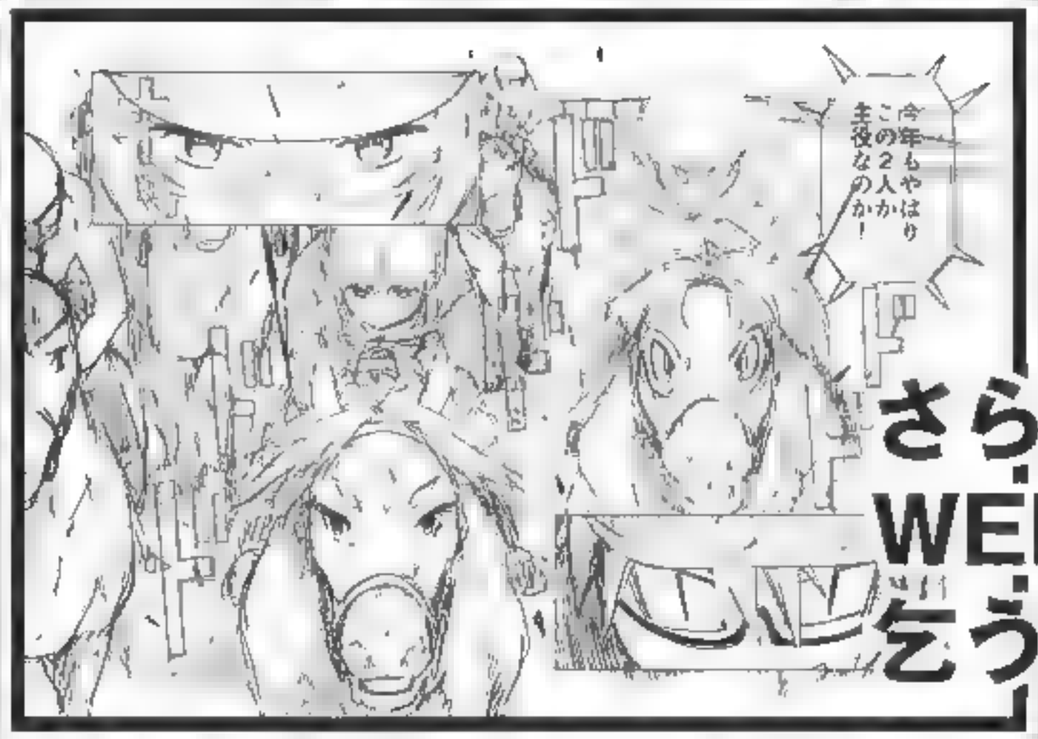
両誌で新作スタート!!

『エロいスキルで異世界無双』

漫画：薬味紅生姜　原作：まさなん

10/10配信予定

コミックライドアドバンスにて連載開始！



『突然パパになった最強ドラゴンの子育て日記』

漫画：火事屋　原作：蛙田アメコ

10/30配信予定

コミックライドにて連載開始！

さらにサプライズ新連載！

WEBで一世を風靡した名作が蘇る！

乞うご期待！！

RideComics

ご主人様とゆく異世界サバイバル！
THE COMIC 1
【電子書籍版】

漫画
SASAYUKi

原作
リュート

キャラクター原案
ヤッペン

カバー装丁
AFTERGLOW

本文装丁
池田太郎（CE編集部）

発行
株式会社マイクロマガジン社
〒104-0041　東京都中央区新富1-3-7ヨドコウビル
●編集部TEL.03-3551-9563／FAX.03-3297-0180
●販売部TEL.03-3206-1641　FAX.03-3551-1208

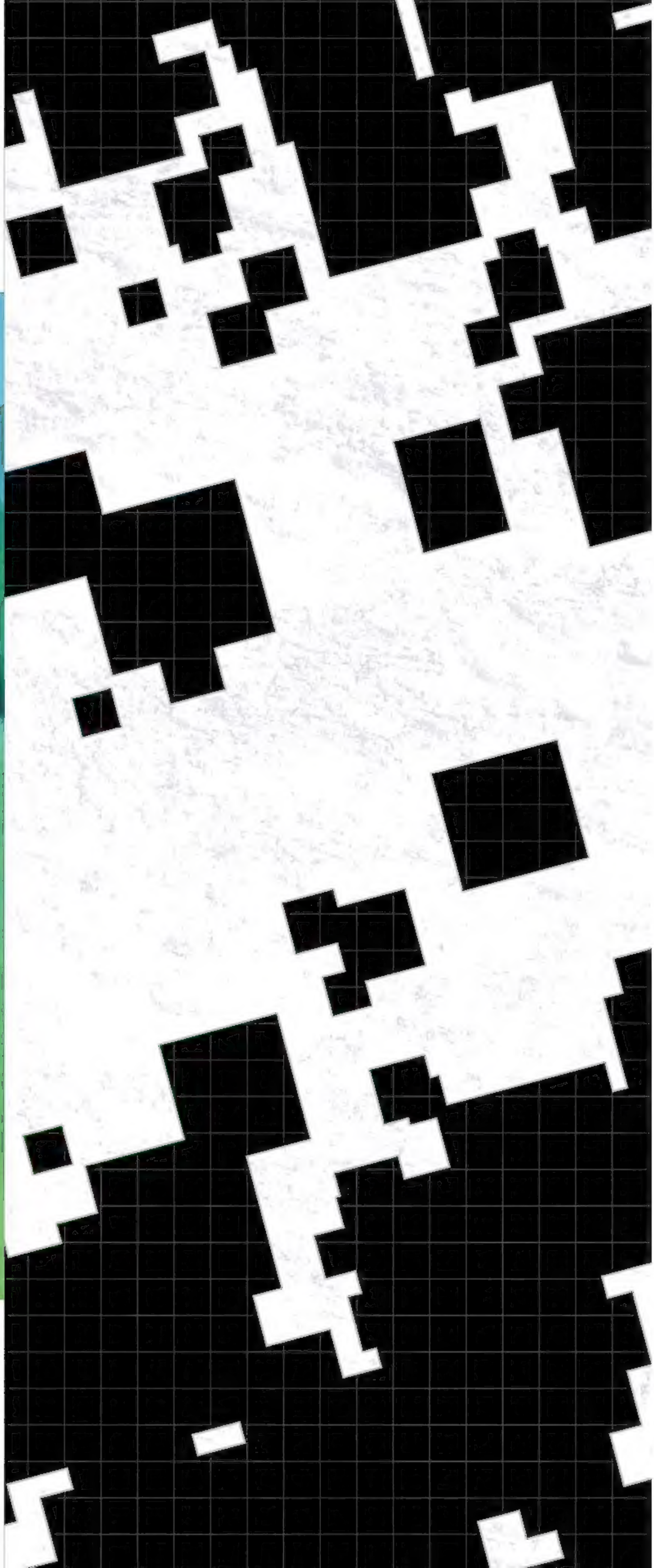
※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。
この物語はフィクションであり、実在の人物、団体、地名などとは一切関係ありません。

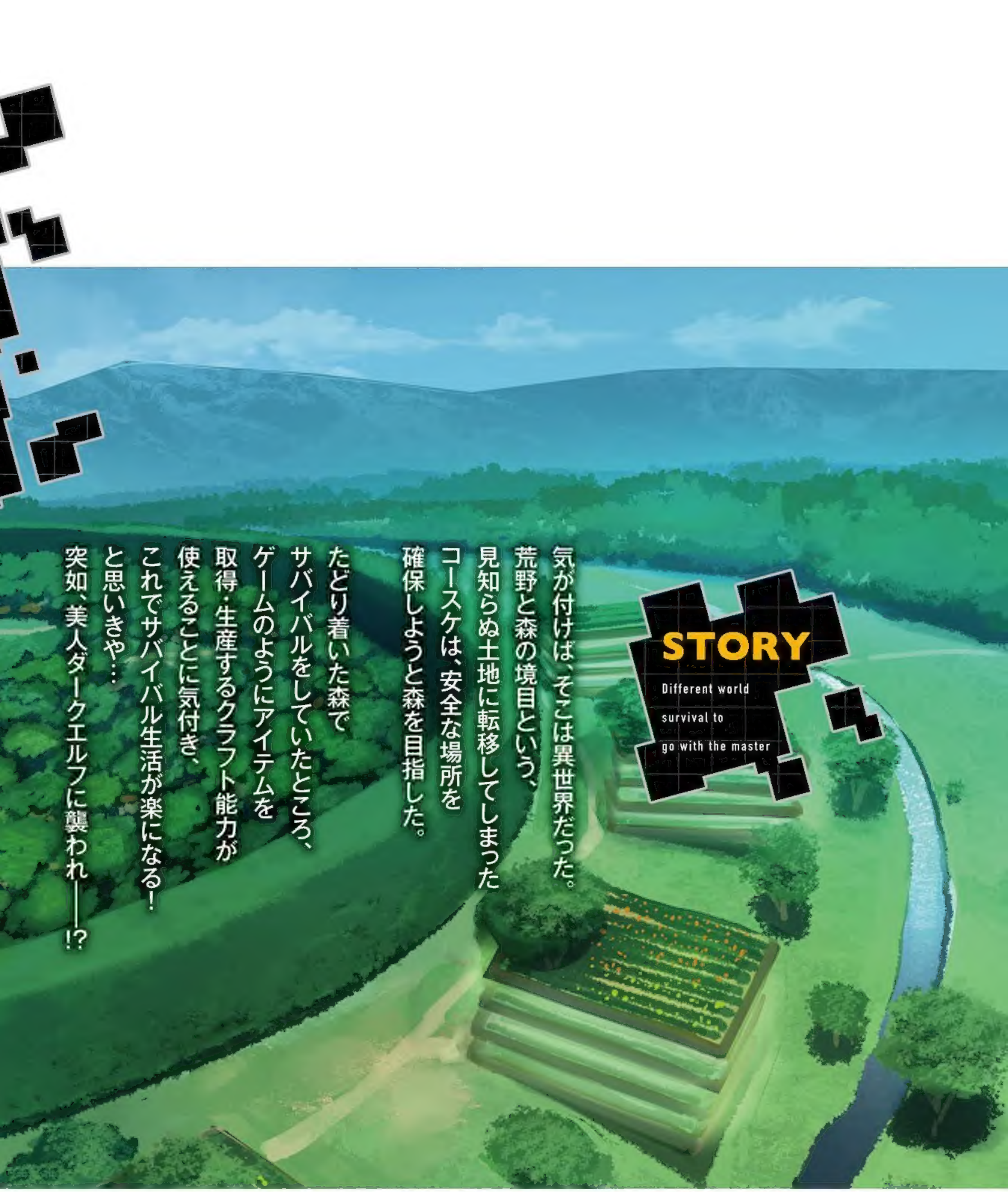
当ファイルはライドコミックス
「ご主人様とゆく異世界サバイバル！ THE COMIC 1
（2020年10月8日第1版 第1刷発行）」に
基づいて作成しております。

©2020 SASAYUKi ©2020 Ryuto　Published by MICRO MAGAZINE

https://comicride.jp/

http://micromagazine.net/




STORY
Different world
survival to
go with the master
気が付けば、そこは異世界だった。
荒野と森の境目という、
見知らぬ土地に転移してしまった
コースケは、安全な場所を
確保しようと森を目指した。
たどり着いた森で
サバイバルをしていたところ、
ゲームのようにアイテムを
取得・生産するクラフト能力が
使えることに気付き、
これでサバイバル生活が楽になる！
と思いきや…
突如、美人ダークエルフに襲われ――!?

ご主人様とゆく異世界サバイバル生活

STORY

Different world survival to go with the master

気が付けば、そこは異世界だった。
荒野と森の境目という、見知らぬ土地に転移してしまったコースケは、安全な場所を確保しようと森を目指した。
たどり着いた森で、サバイバルをしていたところ、ゲームのようにアイテムを取得・生産するクラフト能力が使えることに気付き、これでサバイバル生活が楽になる！と思いきや…
突如、美人ダークエルフに襲われ――!?

SASAYUKI

MICRO MAGAZINE

ご主人様とゆく異世界サバイバル生活!

THE COMIC 1

SASAYUKi
［原作］リュート
［キャラクター原案］
ヤッペン

RideComics